

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもと
づく医療・介護の実践

くらしと健康

No. 609 2018年
1部60円 7月号
友の会会員は会費に含まれています
発行 東京勤労者医療会代々木病院
院長 河邊 博正
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7
TEL 03(3404)7661
<http://www.tokyo-kinikai.com/yoyogi>

過去の病気ではない、結核

呼吸器内科



内科医師
落合克律

結核「中進
国」日本

日本は「結核中進国」と位置づけられています。患者が減らない理由のひとつは高齢化です。2016年は各年齢階層別で80〜89歳が29・2%と最も多く、90歳以上では10・5%となり、高齢化に伴って感染者も高

日本で結核は、今でも1日に50人の新しい患者さんが発生し、1日5人が命を落としていく重大な感染症です。先進諸国の中でも罹患率が高く、高齢化に伴って、感染者も高齢化し、なかなか減らない結核についてお話しします。

結核とは

結核とは「結核菌」という細菌が直接の原因となっており、更にひどくなると、だるさや息切れ、血の混じった痰などが出現し、呼吸困難を伴って死にいたることもあります。

結核の症状

結核の症状は風邪と似ていますが、発熱、咳、痰などの症状が長く続くのが特徴です。また、体重が減る、食欲がない、寝汗をかくなどの症状もあります。更にひどくなると、だるさや息切れ、血の混じった痰などが出現し、呼吸困難を伴って死にいたることもあります。

重症化と
拡大を防ぐ

結核を知ることが予防への第一歩となります。早期発見・早期治療は本人の重症化を防

結核とは「結核菌」という細菌が直接の原因となっており、更にひどくなると、だるさや息切れ、血の混じった痰などが出現し、呼吸困難を伴って死にいたることもあります。

結核の症状は風邪と似ていますが、発熱、咳、痰などの症状が長く続くのが特徴です。また、体重が減る、食欲がない、寝汗をかくなどの症状もあります。更にひどくなると、だるさや息切れ、血の混じった痰などが出現し、呼吸困難を伴って死にいたることもあります。

結核の意外な感染場所(例)

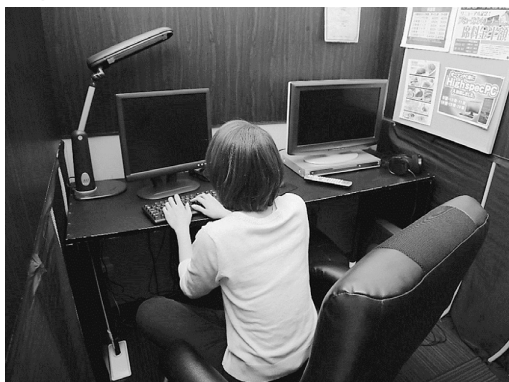
※あくまでも、空調換気の悪い、結核患者が訪れた後の狭い空間(イラスト、写真は、限定するものではありません)

【例1】



例：カラオケボックスなど

【例2】



例：インターネットカフェやマンガ喫茶

意外な
場所でも

感染場所が意外な所は、空調換気の悪い狭い場所です。結核菌の飛沫が長く滞留するため、感染源になる人が目の前にいます。そして花言葉は「笑顔」。

結核対策の基礎です。そのために次のような手だてが行われます。

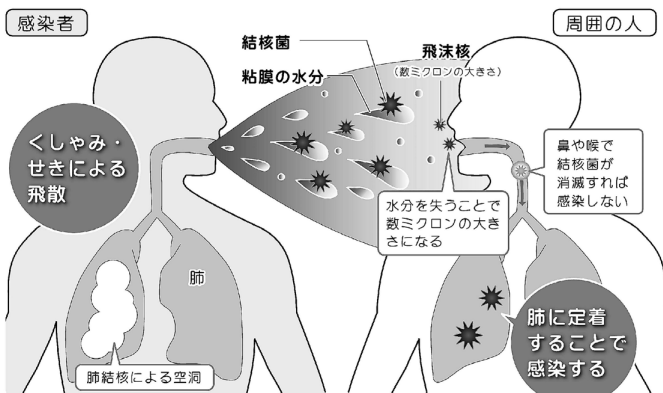
BCG接種：感染を受けても発病しないように免疫をつける。主として子供に行われます。

化学予防：感染を受けたことが分かった人に、発病を防ぐために薬をのませる。対象はやはり子ども、若者です。

患者発見：発病してしまった人をできるだけ軽いうちに発見して治療につなげる。健康診断や医療機関の受診が含まれます。

治療：発見した患者を化学療法で治し、感染源

結核の感染経路



感染拡大を
防ぐ手立て

感染→発病→感染↓という連鎖が結核という感染症の広がる仕組みなので、それを断ち切ること

千駄の萱

今回は夏の花の花言葉シリーズです▼まずはお馴染みのひまわり。花言葉は「栄光」。外見を裏切らない花言葉です。花を太陽の動きに合わせて動かすと考えられていたことから、その名が付いています。それは生長が盛んな若い時期だけなのでそうです▼次はアサガオ。「夏の花といえ

アサガオ。「夏の花といえアサガオ」という方もいらっしゃるかも知れません。花言葉は「淡い恋」です。いかにも夏らしい花言葉です。日本を代表するような花で、その種子は漢方薬としても用いられ、非常に高値で取引されていたそうです▼次はホオズキです。毎年7月のはじめには浅草ではおすき市が開催されます。花言葉は「笑顔」。あのかわいらしい姿を見ていけば、自然と笑顔がこぼれてきそうです。あの赤く膨らんだところは、萼が発達した部分で、果実を包み込んでいます▼最後にツリガネソウです。ご存じの通り、花のかたちが名前の由来です。そして花言葉は「思い出。夏といえは思い出。「良い思い出」も、「悪い思い出」もあるでしょう。今年の夏はどんな思い出が出来るでしょうか。